

● 原田善征会長、及び各単会会長の年頭によせて

● 第3期 東北・北海道経営倫理塾開講 受講生受付開始

● 第2期 宮城後継者倫理塾開講 受講生受付開始

ラポール (rapport:フランス語)
もともとは報告・つながり・関係
などを意味するが、対人関係に
おける円滑な精神的交流を指す
ようになった。



2003年の年頭によせて 歴史に学ぶ先見性と行動力

宮城県倫理法人会 会長 原田 善征
(株式会社ホテル原田 社長)



明けましておめでとうございます。

日本は今大変革の時代だといわれております。日本は過去にも幾度かの大改革を経験してきました。幕末にあっては勤皇の獅子たちが立ち上がり、明治維新という大偉業を成し近代化に成功しました。また太平洋戦後は混乱期を乗り越え、高度経済成長期を経て経済大国への仲間入りを果たしました。しかしバブル崩壊後、舵の壊れた難破船のように、行く先の見えない混沌とした時代へと突入しています。

近代日本の大変革の立役者は、何といても坂本竜馬でしょう。幕末に坂本竜馬が現れ薩長連合を成功させ倒幕を早めました。彼の時代を見抜く目はやはり確かなものだといわねばなりません。竜馬は貿易会社「亀山社中」を創設します。後に土佐藩から脱藩の罪を許され「海援隊」の隊長に任命されるや、竜馬は亀山社中をそのまま海援隊の中に吸収させました。ここに軍艦と貿易船が一緒になった日本最初の貿易総合商社「海援隊」が誕生したのです。竜馬と同時に脱藩の罪を許された中岡慎太郎は陸援隊の隊長に任命されています。

竜馬が亀山社中を立ち上げたのは江戸時代末期で、日本人の誰もが資本主義というものを知りませんでした。そのような時代に彼は欧米の書物を研究し、資本主義の原理を会得します。欧米にはカンパニー(株式会社)というものがあり、経営者が労働者を雇って仕事をさせ、その対価として給料を支払い、その中から労働者は税金を納め、経営者も利益から国に税金を支払います。その税金で国家を運営するという資本主義の仕組みを竜馬は会得していたのです。また国民一人ひとりが選挙権を持ち、大統領や国会議員を自分たちの手で自由に選び、国を統治させるという民主主義と資本主義の原理原則を独学で学んでいました。

坂本竜馬はアメリカやヨーロッパの資本主義に憧れ、欧米と交易しようと試みました。この日本初の試みは坂本竜馬暗殺と共に消滅するかに思われましたが、岩崎弥太郎によって受け継がれていきます。岩崎弥太郎も坂本竜馬と同じ土佐藩の出身でした。この「亀山社中」が後に日本を代表する総合商社である三菱財閥となるのです。

激動の幕末にあって、ただ一人日本の将来を見据えた男坂本竜馬。彼の類まれなる先見性が壮大な夢のある会社を創設し、それが日本を代表する、いや世界を代表するような総合商社である三菱財閥を生んだといっても過言ではないでしょう。坂本竜馬の先見性とそれを実行に移す決断力と行動力。私たちは坂本竜馬に学ぶべきものがたくさんあるのではないのでしょうか。

先を読み、それなりの方策を考えても机上の空論では何ものなりません。逆に行動力だけでも先を読む力がなければ何の意味もなく無駄になってしまいます。思考と行動という両面をかねそなえた人財こそ必要とされるのです。それにはモーニングセミナーに出席することが自分を磨く早道だと思います。

● 仙台中央倫理法人会



会長 鈴木 征三郎
(バセロン歯科医院 院長)

——年頭によせて——

米国流経営手法は紛争の種となる

米国流の経営理論が横行し、リストラによる人員の削減と統廃合が進んでいる。農耕民族のアジア人が、狩猟民族の欧米人になれないように、発想も自ずと異なっている。

学ぶことは参考であって、アジア人の発想の短所を補完するに止めるべきである。民族的な価値観、宗教観、地域の文化、風土が数千年の歳月を経ての知恵によって醸成されたアジア的発想を簡単に失わせてはならない。

米国流経済手法は地球の生態系と同様に人類(民族)の生態系を破壊する凶器であり、新たな貧富を生み、結果として紛争の種となり長続きしない。私たちはこのことを念頭に置き、地球秩序安寧のため、これからは地球倫理に活路を求めるべきである。

私たちは不測、不能の混沌の時代に羅針盤となる倫理(真理、正義に基づく理念)を学び、これを活かし、広め、事の道理の正しさを立証することである。まずは日本的経営の長所を活かすことこそ本質である。

● 石巻市倫理法人会



新会長 末永 勲二
(末永海産株式会社 社長)

——年頭によせて——

会員拡大が自己成長の糧となる

多くの会員の皆様と共に、新春を迎えることができ、心から感謝とお祝いを表したいと思えます。

現在、日本の経済界は大きなうねりの真っ只中にあります。しかし、私達は環境がどのような状況の中にあっても、会社の維持発展に努力して行かねばならないという使命を持って生かされております。このような時だからこそ、何の為に自分の会社の存在が必要であるかを深く静かに見つめていかねばなりません。倫理の教えはたゆまぬ実践の中にあり、現在のような混迷の中でこそ大きな勇氣、決断力を与えてくれ、私達の道標となってくれるはずです。

忙中に閑を持ち、もう一度居住まいを正して十七ヶ条を精読し、深思し新たなる2003年をチャレンジ元年とし、倫理会友の普及拡大を己自身の成長の糧とします。会員の皆様の協力を御願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

● 仙南倫理法人会



会長 佐藤 隆雄
(株式会社ジェー・シー・アイ 社長)

——年頭によせて——

“人生は一番勝負、指しなおすこと能わず!”

新年あけましておめでとうございます。本年は益々大変動、大激動の年になっていくような感がぬぐえません。このような大変動、大激動の時代こそ私たちは心構えをしっかりせねばなりません。将棋の勝負に「持ち時間制」を導入した第十四代・木村義雄名人は、将棋好きの菊池寛に色紙を求められ「人生は一番勝負なり、指し直すこと能わず」と書かれました。平等に与えられている時間を無為に過ごすなどということでしょうか。

万人幸福の葉には「希望は心の太陽である」とあります。自分に与えられた時間と役割というものを、時代の流れを読みながら、夢や希望、そして目標として抱き、今のひとときを最大限に充実させ、一日一日を無駄なく最善を尽くすことが大切なのです。まずはモーニングセミナーに出席する心構えを、新年にあたって新たな決意をしようではありませんか。

● 佐沼倫理法人会



会長 鹿野 博之
(株式会社グランドホテル鹿野 社長)

——年頭によせて——

経営理念を大切に、心と技を磨きましょう

2003年の新春を迎え、県役員の皆様はもちろん、各会員の皆様にはつつがなくお過ごしのことと御祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

2002年の年は世界各国いろいろ混乱した諸問題が起き、大変な時代に側面しているのが現状でした。日本国内でも大型倒産はもちろん、中小企業の倒産、個人消費の落ち込み、さらには新卒生の就職難等々と不安定な年でありました。今年もそれと同じような事態が続くような感があります。

わが町佐沼も100社復活を目標に、セミナーに参加している諸君が一生懸命各企業に働きかけ頑張っている昨今ですが、申し込み用紙をいただくところまではいくのですが、いざ入会金の振込みとなると断念されてなかなか思うように拡大できないのが現状で、会長として大変申し訳なく思っております。

私はこの不況を乗り切るためには心身共に健康で、真心のある実行力に限ると思っております。そして多くの町民とのコミュニケーションを広め、教養を大切に、自分だけの利益を求めず、一生懸命働くことに努力しなければなりません。

2003年の新年を迎え、お互いに経営理念を重んじ、心と技を磨きましょう。

● 大崎倫理法人会



会長 佐藤 俊明
(株式会社佐藤酸素 社長)

——年頭によせて——

大変革の時代だからこそ、信念をもって事を成すべし

新年明けましてめでとうございます。

大きく変わる21世紀。様々な価値観が交錯する中で、私たちは自らの人生や家族関係並びに企業経営に対して、明確な方向性を持たなければなりません。周囲の喧騒に巻き込まれることなく「倫理での学び」が確固たる信念を持って「考動」することにつながり、混迷する大変革の時代に前進できるかけがえのない力となることを確信するものであります。具体的に言うならば『会友の熱き想い』と『学びの姿勢』を結実させるモーニングセミナーへ積極的に出席することが、自らの『甘えの言動』や『責任回避的行動』を変革させ『打つ手は無限』であることにつながるものと思っております。

本年一年間を『倫理(みち)につながるまことの会友』の皆様と『人生は神の演劇、その主役は己自身である』ことを肝に銘じ、自らの信念に裏付けされた倫理活動を実践していこうではありませんか。

● 気仙沼市倫理法人会



会長 村上 力男
(株式会社あさひ鮎 社長)

——年頭によせて——

打つ手は無限

新年明けましておめでとうございます

一段と厳しい経済環境の中で、勝ち残った会員企業の皆様に新年のご挨拶ができませんことを大変嬉しく存じます。

「苦難福門」が示すように、今年も倫理法人会並びに、会友の企業が経営者共々成長できる年であると理解いたしております。不透明で先の見えない時代ですが、純粋倫理の実践こそが企業を救い繁栄に導く確かな学びと信じ、会員相互の融和を図りながら元気に楽しく学べる会の運営を進めて参りたいと考えております。何と云っても「元気が一番!」その結果としてモーニングセミナー出席35社が自然の流の中で達成されますことを願っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

● 仙塩倫理法人会



会長 鈴木 光夫
(株式会社鈴電 社長)

——年頭によせて——

明朗・愛和・喜働を基本理念に

会員の皆様新年あけましておめでとうございます。

好転の兆しの見えぬ昨今の経済状況下で企業の存続、発展のため経営者としてどうすべきか大いに問われております。当法人会は「明朗・愛和・喜働」を基本理念に会員一同一丸となってこの不況を乗り越えます。そして次に掲げた二つを目標において新年のご挨拶と致します。

- 1、楽しいモーニングセミナーの開催と出席者の増加
- 2、普及拡大運動の実施(出きるだけ早い時期に100社に戻す)

● 仙台泉倫理法人会



会長 萱場 靖夫
(カヤバ管材株式会社 社長)

——年頭によせて——

『元旦や 上々吉の 日本晴れ』

新年あけましておめでとうございます。

2003年を迎えるにあたり、必ずや日本国は変わらなければと念ずるところがあります。今年こそ元気な日本にしなければなりません!!

私たちは20周年に2000社達成の目標を掲げました。仙台泉倫理法人会におきましてもメンバー企業が一丸となって、更なる素晴らしい企業の仲間作りと会員拡大の輪を広げるべき努力をしております。また倫理の基本であるモーニングセミナーへの参加を、一社でも多く出席されることを願っております。

今年も泉倫理法人会は、昨今の急速な社会変化に立ち遅れることなく、基本理念として掲げた「活力ある企業」を目指し、仲間たちと共存共栄で益々発展してまいります。同時に会友のさらなる発展をご祈念申し上げ、新年のごあいさつとします。

● 仙台若林倫理法人会



会長 松谷 一夫
(株式会社松や 社長)

——年頭によせて——

人生は神の演劇、その主役は己自身である

あけましておめでとうございます。

混迷の出口が見えず、不況という言葉では説明しきれず、日本が大転換していると意識せざるをえません。

自然から与えられたこの“ころみ”に身を置きつつも、たえず自分が主役であることを忘れず、与えられた主役をそれぞれの立場と場面で元気に演じ切って見たいものと思います。倫理を学び、明るく元気にこの流を乗り切ろうではありませんか。万人幸福の栞の中にその答えがあります。万人幸福の栞十七条『人生は神の演劇、その主役は己自身である』。

● 仙台宮城野倫理法人会



会長 小倉 壽一
(株式会社オグラ 社長)

——年頭によせて——

本物の時代、本物の経営到来

2003年明けましておめでとうございます。

世の中こうも混沌としてきますと何が起きても驚かないようになってきました。でも、こんな世の中だからこそ、自分の足下をきちんと固めておかないといけません。

船井幸雄氏によれば今が「本物の時代」だといっております。政治家も本物の政治をやってくれれば世の中がもっと明るくなると思います。銀行も本来の仕事に力を入れて責任の持てる公平な仕事をしてくれれば、景気も良くなるでしょう。

そんな中において何より私たちは「本物の経営」をする事が大切であると思います。お客様が真に求めている商品・サービスを提供し、日々改善に努力し、その結果愛される会社(店)造りがこれからの目標です。仲間と良く語り、色々な経験をつまれた講師の方々の貴重な話に耳を傾け、自分を磨き、実りある年にしたいと思います。

● 仙台太白倫理法人会



会長 高野 十
(株式会社オトランドリータカノ 社長)

——年頭によせて——

リーダーかくあるべし

新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は“ひつじ”でございます。イエス・キリストはこの世の人を“迷える子羊”と称しましたが、今や世界中混迷の淵に立たされているように思います。しかし、「苦難は幸福の門」と申します。『倫理』を学んでいる私たちはここから勝負です。この混迷を脱して、きっと素晴らしい未来をつくりあげることができると信じています。

“一匹の羊に率いられた百匹の狼よりも、一匹の狼に率いられた百匹の羊の群れが強い”と申します。

私どもは“百匹の羊の群れを見事率いる”ことができるリーダーを目指し、今年も会友共々さらなる倫理の勉強を楽しみたいと思っております。

● 仙台青葉倫理法人会



会長 林 昭兵
(㈱東洋環境開発 会長)

——年頭によせて——

自力本願で不況を乗り越えよう

新年あけましておめでとうございます。

「今年は去年と比べてどうでしょうか」と言うのがここ数年、新年の皆様のご挨拶ではなかったでしょうか。今年は過去との比較を考えず、今を原点として来年、再来年への飛躍の年にしようではありませんか。

「失われた十年」という言葉も、もう聞き飽きました。ところが炊米においては株価の下落、デフレ傾向が強まり「失われた十年」が始まろうとしています。日本が先取りをした不況。その分だけ早く脱却できると思います。ただし、他力本願でなく自力本願で脱出することです。

青葉倫理法人会は、昨年結成二周年記念の講演会に伊集院静先生をお招きし大変盛大に開催いたしました。これは役員並びに会員各位の情熱にほかなりません。改めて御礼と感謝を申し上げます。

● さくら倫理法人会



会長 齋 清志
(株式会社エフエフオー 社長)

——年頭によせて——

『打つ手は無限』への実践

先行きの不透明感の漂う我が国の経済状況。我々企業への国の抜本的、具体的対策が感じられない中、企業存続、発展のため手をこまねているわけには行きません。

私どもにはすばらしい先駆者の言葉があります。千葉県倫理法人会初代会長の滝口長太郎先生の『打つ手は無限』という明言です。この言葉を何度も何度も口にしましょう。必ずや現状の打開策がみつかるはずです。

新しい年は企業存続、発展のため、新たな気持ちを持って行動・実践することが唯一の方策であると確信しております。

宮城県倫理法人会からのお知らせ

第3期 東北・北海道経営倫理塾 受講生受付開始

——塾頭 田中 裕人——

東北・北海道経営倫理塾は会員なら東北全域から受講できます。大変好評を博した第1期に続き、第2期は青森県内を中心に開催されました。それもこの1月で修了いたしました。

第3期は『経営理念』と、それを具現化する『経営計画書』作成など、経営者に欠かすことのできない受講内容となっております。田中裕人塾頭を筆頭に、著名な講師を人選し、内容を充実し、数々の学びの道場として開講します。詳しくは宮城県倫理法人会事務局まで。(☎022-222-7910)

1. 募集定員/20名

2. 会場/茂庭荘(仙台市勤労者保養所)

3. 日程/第1回講座 4月5日(土)・6日(日) 宿泊「4/5は開校式」
第2回講座 5月10日(土)・11日(日) 宿泊
第3回講座 6月7日(土)・8日(日) 宿泊
第4回講座 7月6日(日) 宿泊「経営計画書発表」終了



・第1期東北・北海道経営倫理塾の開塾記念式

第2期 宮城後継者倫理塾 塾生受付開始

——塾頭 原田 善征——

宮城県倫理法人会は三つのスローガンを掲げています。その一つに『倫理活動を通して未来を担う新進気鋭の人材を創出する』という重大目標があります。その重大目標に向かってスタートしたのが第1期宮城後継者倫理塾で昨年5月に開講。10月の富士研特別研修を含め長期研修を終え、12月の閉講式には20名の新進気鋭の後継者がめでたく卒業しました。閉講式では原田善征塾頭はじめ、多くの参列者から、入塾どきとは塾生の目の色が変わったと、その成果に賞賛の声が上がりました。

只今期待の第2期生を受付けております。詳しくは宮城県倫理法人会事務局まで。(☎022-222-7910)

1. 募集定員/20名

2. 会場/茂庭荘(仙台市勤労者保養所)

3. 日程/第1回講座 5月18日(日) 開講式
第2回講座 6月14日(土)・15日(日) 宿泊
第3回講座 7月19日(土)・20日(日) 宿泊
第4回講座 9月13日(土)・14日(日) 宿泊
第5回講座 10月は富士研特別研修(2泊3日)
第6回講座 11月16日(日) 宿泊 閉講式



・第1期宮城後継者倫理塾講座風景

12月 モーニングセミナーの講師陣

仙台中央倫理法人会 会場/仙台国際ホテル 022(268)1111 毎週水曜日AM6:00~

- 5日(木)高橋 礎 様 (フジデンツ・ターナー・リンク 代表取締役社長) ■倫理のお陰!!!!
- 12日(木)鹿島 節子 様 (法人スーパーバイザー 鹿島 貞子 代表取締役) ■ありがとう
- 19日(木)白鳳 占子 様 (占師) ■来年度の経済展望を占う
- 26日(木)企業体験発表 (鹿落旅館 館主 逸藤 光春 様、南三吉企画 代表取締役 吉田 祥子様)

石巻市倫理法人会 会場/つつじ園 02225(22)2101 毎週水曜日AM6:00~

- 4日(水)佐藤 俊明 様 (准佐藤 代表取締役) ■出逢い!学び!感動・感謝!
- 11日(水)ビデオ研修「万人幸福の葉」解説 ■明朗は健康の父、愛和は幸福の母(後編)
- 18日(水)水沢 長之 様、古藤野 靖 様、堀内 春 様、瀧美 秀明 様 ■経営理念塾について
- 25日(水)近藤 久三 様 (社倫理研究所 理事 近藤 久三 代表取締役) ■歴史は繰り返される、その時私は

仙南倫理法人会 会場/ホテル 02223(24)2525 毎週火曜日AM6:00~

- 3日(火)万人幸福の葉学習会 ■働きは最上の喜び
- 10日(火)中西 康成 様 (社倫理研究所 総務部 広報部長) ■感謝と人生
- 17日(火)大木 主夫 様 (風ビュースポーツ 支配人) ■スイミングクラブの元気男
- 26日(火)会員リリーススピーチ ■一年を振り返って

佐沼倫理法人会 会場/グランドホテル 02220(22)8711 毎週火曜日AM6:00~

- 5日(火)ビデオ講演 ■親に感謝が成功の道
- 10日(火)会員スピーチ ■今年一年を振り返って
- 17日(火)大橋 良弘 様 (社倫理研究所 副参事)

大崎倫理法人会 会場/ホテル古川ゴールドホテル 02229(24)2121 毎週火曜日AM6:00~

- 3日(火)森本 宏 様 (社倫理研究所 法人局普及事業部 研究員) ■実践力
- 10日(火)高橋 憲治 様 (ユニアンドアイ・ソリューション 代表取締役) ■中小企業の社員活用について
- 17日(火)ビデオ例会「万人幸福の葉」解説 ■信ずれば成り、憂えれば崩れる(前編)
- 24日(火)中村 光良 様 (ナカリ街 代表取締役) ■強靱な会社を創る

仙塩倫理法人会 会場/和食の小島 0222(362)0819 毎週水曜日AM6:00~

- 4日(水)小林 桂子 様 (社倫理研究所 参事) ■夫婦が心を合わせた時
- 11日(水)草野 哲也 様 (草野司法事務総合事務所 所長) ■最近の多重債務者事情
- 18日(水)太田 東洋男 様 (社ネットワークプランニング) ■倫理に触れて倫理に結ぶ
- 25日(水)佐山 輝明 (八坂神社 宮司) ■平成15年の運勢について

気仙沼市倫理法人会 会場/総合結婚式場アーバン 02226(24)1566 毎週水曜日AM6:00~

- 4日(水)佐々木 正博 様 (佐々木歯科医院 院長) ■心の極意TA(交流分析)
- 11日(水)和田 毅 様 (社倫理研究所 法人局普及事業部 主事) ■美しい努力
- 18日(水)斎藤 俊明 様 (さいとう製薬 代表取締役) ■かもめの玉子の軌跡
- 25日(水)小山 鶴夫 様 (南萬屋 代表取締役) ■よろずよもやまばなし

仙台泉倫理法人会 会場/仙台ロイヤルパークホテル 022(377)1111 毎週水曜日AM6:00~

- 4日(水)村上 俊実 様 (南ドリーム・エルフィン 代表取締役) ■女が決断する時
- 11日(水)吉岡 和弘 様 (弁護士) ■経営者にとっての消費者問題
- 18日(水)イブニングセミナーへ 振替
- 25日(水)大内 清昭 様 (LCクリニック 仙台 院長) ■最近話題の肝臓病

仙台若林倫理法人会 会場/仙台サンプラザ 022(257)3333 毎週水曜日AM6:00~

- 4日(水)五十嵐 潔美 様 (庄河北アド・センター 営業部長) ■十七ヶ条憲法の謎
- 11日(水)洞下 実 様 (社倫理研究所 法人スーパーバイザー) ■倫理で掴んだ経営道 ~元気が一番、儲かる会社づくり~
- 18日(水)畑中 健作 様 (成アルファ企画 代表取締役) ■2002年、年の瀬におもむこと
- 25日(水)大久 扶彌江 様 (南元祖たい久そば 代表取締役) ■日本伝統美と心

仙台宮城野倫理法人会 会場/仙台サンプラザ 022(257)3333 毎週金曜日AM6:00~

- 6日(金)大戸 孝郎 様 (南ネットワーク経営 仙台 取締役社長) ■企業をとりまく6種の利害関係人集団
- 13日(金)森本 宏 様 (社倫理研究所 法人局普及事業部 研究員) ■実践力
- 20日(金)渡辺 俊文 様 (サイト工業 執行役員 統括部長) ■自分の45年間を振り返って
- 27日(金)三上 幸子 様 (三上農園) ■大地に根付いた豊かな暮らし

仙台太白倫理法人会 会場/茂庭荘 022(246)5141 毎週火曜日AM6:00~

- 3日(火)山内 文男 様 (東北バイオサイエンス 代表取締役社長) ■日本人は何を信じているのか ~まこと、慈悲の道は世界共通にも通ずる~
- 10日(火)五十嵐 勝昭 様 (社倫理研究所 法人スーパーバイザー) ■強い会社をつくる
- 17日(火)阿部 由晴 様 (常盤木学園高等学校 教諭) ■気づ(築)いたら日本一
- 24日(火)会員フリートーク

仙台青葉倫理法人会 会場/江崎グランドホテル 022(267)5111 毎週火曜日AM6:00~

- 3日(火)和田 毅 様 (社倫理研究所 法人局普及事業部 主事) ■子どもは先生
- 10日(火)三井 美奈 様 (読売新聞 記者) ■新聞記者のよもやま話
- 17日(火)高倉 敏明 様 (多賀城市 歴史文化財調査センター 所長) ■古代都市多賀城~1200年前の都市計画~
- 24日(火)横田 重俊 様 (横田ヤ店主) ■絵本力 ~大人も感される絵本~
- 31日(火)田沼 秀樹 様 (田沼製菓 専務取締役) ■実はあまり知られていないガスの話!

さくら倫理法人会 会場/ホテル原田inさくら 0224(58)2525 毎週水曜日AM6:00~

- 4日(水)加藤 元義 様 (社倫理研究所 副参事) ■危機をのりこえるトップの姿勢
- 11日(水)佐藤 正隆 様 (龍泉院 住職) ■竹の内産廃棄物処分場問題
- 18日(水)川又 康紀 様 (株式会社 設計) ■人は鏡 己はかげ
- 25日(水)原田 善征 様 (社ホテル原田 代表取締役) ■人生晴れたとおり、花が咲く

講師のみなさま、ありがとうございました。

企業に倫理を 職場に心を

■倫理法人会とは...

現代は、一時的な不況対策というような姑息な手段や小手先だけの経営術で生き残る時代ではありません。企業を真に活性化するのは、経営に当たるトップの姿勢、つまり心次第です。

倫理研究所の提唱する純粋倫理を企業に導入することによって、真の経営理念を確立していただき、職場に明朗・愛和・喜働の精神を満ち、職場を意欲に燃えたるヤル気集団・実践集団にして、企業の繁栄に寄与することを目指すのが法人会制度です。

■各種の活動

○モーニングセミナー ○経営者の集い ○経営倫理講演会

■経営者の集い

経営者の集いは、会員相互の親睦をはかり、経営上の情報交換をする場でもあります。月々、いろいろなテーマを決め、講話を聞き、專業経営の苦心談・成功談を語り合うなど、自由な形式で開催されます。

■入会のすすめ

○会費と特典

- 会費...法人会員 入会金10,000円 月額(1口につき)10,000円(何口でも可)
- 特典...1.月刊誌「職場の教養」(非売品)を毎月30冊贈呈します。
- 2.経営倫理指導が受けられます。
- 3.社員教育及び朝礼指導が受けられます。
- 4.希望により倫理研究所の教育施設(富士教育センター)で各種企業セミナーが受講できます。(会員には割引制度あり)